

ヨーヨーで世界をつなぐ、世界を広げる



かぶしがいしゃ
株式会社ヨーヨーカンパニー

〒482-0002 岩倉市大市場町順喜 52
TEL: 0587-81-3924
http://www.yoyocompany.jp



■ 会社概要

2010（平成22）年に創業。ヨーヨーを始め、関連グッズ、アパレルなどの企画・販売などを行っています。

三居（みい）社長はヨーヨープレイヤーであり、2000年の世界チャンピオンです。プレイヤーとしてだけではなく、運営面にも参画したいとアメリカに留学しました。その縁もあり、本社は岩倉市にあります。米国にも出荷施設があります。東京渋谷にも出店しています。



岩倉市にヨーヨーの世界チャンピオンのタイトルホルダーがいることを知っていますか。今回は三居社長に選手としての話ではなく、商品としてのヨーヨーのこと、これからのビジョンのことなど、いろいろなお話を伺いました。

岩倉・国内でオリジナルのヨーヨーをつくりたい

ヨーヨーは、小さいものから大きいもの、プラスチックのものから金属製のものまで、サイズ、素材によってたくさんの種類があります。金額も、千円程度ものから5万円ぐらいするものまで様々です。うちでは世界各国のおよそ500種類のヨーヨーを扱っています。

現在、そのほとんどが中国で生産されています。ヨーヨーは比較的安価なものである割には精度が求められますし、経験が必要な作業もあります。例えば「マツチング」という、ヨーヨーの本体部分のパーツを神経衰弱のように一つずつ組み合わせながら、ブレない組み合わせを確認する作業もその一つです。また、競技用等の金属製の物は、アルミ合金の中でも硬い素材を使うことが多いため、素材自体のコストが高く、切削の時間もかかることから、国内で製造するには失敗のリスクが高いのです。

今では、岩倉市内の射出成型が可能で、プラスチックメーカーと連携して、子どもたちにも手が届きやすく使いや

すいヨーヨーをつくっています。
ヨーヨー業界全体のために

「ヨーヨーを楽しむ人を増やしたい」、「ヨーヨーで頑張っている子たちに、もっと活躍の場を増やしてあげたい」という想いを強く持っており、2010年に、一般社団法人日本ヨーヨー連盟を立ち上げ、代表理事を務めています。

連盟の活動として、テレビ番組にヨーヨーのパフォーマーとして出演したり、若者に人気のアパレルブランドと連携してコラボTシャツを制作したり、この店のためだけでなく、業界の発展につながればとの思いでいろいろな活動をしています。

自分の夢を実現するために、無いもの、足りないものは一つ一つ作ってきました。大変なこともたくさんありましたが、自分達で作ってきたという喜びを感じています。

「仕事は好きであることが重要。好きだから根気よく続けられるし、探求心も沸く。ただ最終的には好きだけではダメでスキルも必要。でも、例えそのスキルがなくても、すぐに諦めるのではなく喰らいついていく強さがほしい。好きなことを貫いてほしい。」と三居さんは話してくれました。

三居さん自身もアメリカの大学に留学した当初、英語は苦手だったそうですが、いまや国際ヨーヨー連盟の運営や審査員会議の進行を務めているとのこと。会社の社長という立場だけではなく、業界の代表として三居さんの挑戦はまだ続きます。